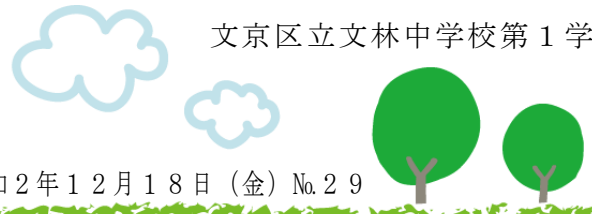


1学年だより

令和2年12月18日(金) No.29



国際理解の授業の様子

12/11(金)6時間目に、駐日欧州連合代表部のリチャード・ケルナーさんが来校し、ヨーロッパ連合の現状や多様性について、スライドショーを用いて講義していただきました。感想の一部をご紹介します。

- ・日本とEUの関わりやイギリスとEUの関わりのおもしろかった。
- ・リチャードさんの話を聞いて、日本とのつながりや留学のことについて身近に感じることができた。
- ・EUに加盟している国が27か国もあって驚いた。いつかイギリスに行ってみたい。
- ・EUに加盟することでどのようなメリット・デメリットがあるのかがわかった。
- ・各国の言語や国旗についてクイズを混ぜながら教えてもらい、EUに興味を持った。
- ・これからはEUのニュースなども詳しく聞きたい。 ・笑顔あふれる場面がたくさんありとても楽しかった。
- ・EU加盟の条件や共通語など、1時間の中で細かい部分をたくさん知ることができてよかった。
- ・今後は、EUのことについて調べたりニュースなどを見たりして、詳しくなりたい。
- ・リチャードさんの「EU離脱は悲しい」という言葉の真意を聞いた時に、改めてヨーロッパ連合の大切さについて学ぶことができた。
- ・パンフレットも全部読み、EUは世界との企業の競争がうまくいくようにできていると聞いて、EUにすごく興味を持ちました。 ・リチャードさんの実際の経験を聞くことができてさらに理解が深まった。



いのちと心の授業(感想)裏面→

来週の予定



日	曜日	1校時		2校時		3校時		4校時		5校時		6校時		給食	予定
		1組	2組	1組	2組	1組	2組	1組	2組	1組	2組	1組	2組		
21	月	学	学	数	数	体	体	英	英	技	家	家	技	○	学年朝礼
22	火	体	美	英	理	数	数	国	体	理	国	音	英	○	
23	水	英	英	数	数	国	社	社	国	道	道			○	英会話 15:00
24	木	体	体	数	数	理	美	国	理	大掃除	保護者会			○	保護者会
25	金	理	社	国	理	英	英	社	国	学年集会	終業式・学活			○	終業式

いのちと心の授業の様子

12/12(土) 2、3時間目に、東京慈恵会医科大学精神神経科診療部長の繁田先生が来校し、「認知症を自分事として捉えよう」という題材で授業をしていただきました。生徒の感じたことや学んだことを一部ご紹介します。

もし身近な人や家族が認知症になったら手伝ったりそばに寄り添って安心させたりするなど、自分がしてあげられることを考えて行動したいと思いました。この講演会で、認知症のことについて深く考えることができました。(1組 女子)

今回の授業を受けて認知症とはどのようなものかを理解することができ、これを今後に生かして、見方や考え方を全員が変えていけたらより良い社会ができると思った。(1組 男子)

身近な人に障害のある人がいたら、優しく接してあげて、少しでも手伝いをして少しでも不安を減らしてあげたいと思いました。(1組 男子)

認知症は遠いようでかなり身近な病気であると思いました。自分をこれまで支えてきてくれた親がいつこのようになることになってしまうかわからないと思い、とても恐怖を感じました。だからわずかな努力かもしれないけれど、親との会話をこれまで以上に、なにか自分から見ていると違ふと感じたら、優しい言葉をかけて気遣うことができればいいなと思いました。今日まであまり手伝ってこなかった家事も、自分から積極的に手伝ってみようと思いました。(1組 男子)

認知症の人たちになにをしてあげられるかななどを班で話し合うことができ、より意見が深まりました。社会に出て障害者と協力し、みんなによりよい社会をつくっていきけるようにしていきたいと思いました。家族や友達がもし認知症になったら、やさしく話すなどができるようにしたいです。(1組 男子)

とても大変な思いをしている人がたくさんいて、それでもその人たちは頑張っていることを知ったので、自分はその人たちがすごいと感じました。人は人の助けが必要だから、助け合うことが大切だということを学びました。(1組 男子)

普段、自分や自分の家族が認知症になったらなどはあまり考えたことがなかったけれど、母が認知症になったら自分はどう接すればよいかを考えて、とにかく見守ってあげて困っていたらサポートしてあげようと思いました。友達の家族が認知症になってもやさしく接してあげたいと思いました。(2組 男子)

認知症の症状には、物忘れや言いたいことが伝えられなくなるなどがあるとわかりました。それにより精神的なストレスや心理的な余裕がなくなってしまうということが心に残りました。もし自分の身近な人が認知症になってしまったら、自分のできる範囲で手伝い、優しく接していきたいと思いました。(2組 男子)

もし親が認知症になってしまったらと考えると、今の自分では生きていけないので、もっと親の手伝いや自分で考えて行動をしていき、それでも親が認知症になってしまった時は優しく接してあげたり手伝いをしたりしていきたいと思います。(2組 男子)

元気でなくても家族なので、変わりなく接してあげたいと思いました。認知症は本人もとてもつらい病気だということを知って、もし祖父や祖母が認知症になっても、楽しく生きていけるように助けてあげるようにしようと思いました。(2組 男子)

アルツハイマー病の症状を知った時、大変な病気だと思いました。もしお母さんやお父さんが認知症になったら、たくさん手助けをしたいです。(2組 男子)

